

PRAEVIDENTIA DAILY (10月6日)

昨日までの世界：NFPと失業率に反応、平均時給の下振れには反応せず

先週金曜は、米雇用統計で非農業部門雇用者数が+24.8万人、失業率が5.9%といずれも市場予想比で良好だったほか、弱かった前月分の雇用者数も+14.2から+18.0万人へ上方修正されたことから、米中長期債利回りの上昇と共にドルが対主要通貨で全面高となり、ユーロ/ドルが1.25ドル丁度近辺、ポンド/ドルが1.5950ドル近辺、豪ドル/米ドルが0.8640ドル近辺と年初来安値を更新した。この間、ISM非製造業景況指数も58.6と前月比悪化ながら市場予想を若干上回ったほか、雇用指数が前月の57.1から58.5へ改善したこともあり、ドル続伸に寄与したようだ。

他方、ドル/円も108.90円近辺から一時109.90円程度へ上昇したが、10月1日につけた年初来高値である110.08円には届かなかった。米ドル/加ドルも1.1269ドルと3月20日の年初来高値(1.1278ドル)に届かず、NZドル/米ドルも0.7735ドルと9月29日の年初来安値(0.7707ドル)には届かなかった。

市場予想を上回る非農業部門雇用者数と失業率の大幅低下を受けて為替市場における米利上げ早期化期待とドルブルセンチメントは強まったようだが、平均時給は前月比0.0%と市場予想(+0.2%)を下回り、前年比では+2.2%と前月(+2.1%)を若干上回ったが横ばい傾向で、インフレを考慮した実質賃金は依然としてゼロ%台の伸びに留まっている模様だ。また米中長期債利回りの反応は鈍く、10年債は一時5bpsほど上昇したがその後発表前の2.44%程度へ反落、2年債は一時4bpsほど上昇した後3bpsへ上昇幅が若干縮小している。米株価は通常、利上げ早期化を示唆する結果には売りで反応するが上昇しており、9月後半以降の調整で既に利上げ早期化を十分織り込み、良好な結果に素直に反応し易くなっているのかもしれない。

なお、非農業部門雇用者数(NFP)が市場予想比で上振れでも下振れでも上昇する傾向(前日終値対比)があるため当社が注目していたランド/円は、雇用統計発表前の水準(9.68円程度)後はほぼ横ばい、前日終値(9.69円)対比では僅かに下落となった。通常と異なり、ドルの上昇が、対円(+1.2%)よりも対ランド(+1.4%)の方が大きかったことを意味している。その他、NFP上振れ時にはドル/円の上昇が大きいことからクロス円も総じて上昇(円安)することが多いが(下表を参照)、今回はNZドルや豪ドルの対米ドル相場下落が非常に大きかったことから、NZドル/円や豪ドル/円など一部のクロス円も下落したのが異例だった。

今回の米雇用統計発表後の主要通貨ペアの前日比変動率(平均値、NY引け値ベース)

	ZAR/JPY	USD/JPY	EUR/JPY	CAD/JPY	NZD/JPY	AUD/JPY	GBP/JPY	USD/ZAR	USD/CAD	EUR/USD	NZD/USD	AUD/USD	GBP/USD
NFP上振れ (13年以降平均)	+0.89	+0.80	+0.75	+0.74	+0.53	+0.52	+0.48	+0.14	+0.03	-0.08	-0.22	-0.29	-0.36
今回9月分	-0.20	+1.24	-0.01	+0.23	-0.41	-0.16	+0.09	+1.43	+0.79	-1.20	-1.76	-1.48	-1.12

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

通貨ペア	変化率	米2年金利差	米2年金利	日2年金利	米10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	+1.2	+0.04	+0.03	-0.01	+0.01	+0.01	-0.00	+1.1	+0.3	-1.4	-1.2
ユーロ/ドル	-1.2	-0.03	+0.01	+0.03	+0.01	+0.02	+0.01	+0.8	+1.1	-1.2	-0.01
ポンド/ドル	-1.1	+0.02	+0.05	+0.03	+0.06	+0.08	+0.01	+1.3	+1.1		
豪ドル/米ドル	-1.5	+0.01	+0.04	+0.03	+0.03	+0.04	+0.01	+1.1	+0.0	-0.4	
NZドル/米ドル	-1.8	-0.00	+0.03	+0.03	-0.00	+0.01	+0.01	+1.1	+0.0	-0.4	
米ドル/加ドル	+0.8	+0.03	+0.03	+0.01	+0.01	+0.01	+0.00	+1.1	-1.4	-0.4	

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。
(出所) トムソン・ロイター、プレイデントティア・ストラテジー

主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	+0.4	-0.01	-0.02	-0.01	-0.09	-0.09	+0.00	-0.8	-3.2	-6.1	-4.3
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の原油価格差
ユーロ/ドル	-1.3	+0.02	+0.00	-0.02	+0.05	-0.04	-0.09	-2.5	-0.8	-4.3	-0.01
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
豪ドル/米ドル	-1.0	-0.03	-0.04	-0.02	+0.06	-0.02	-0.09	-2.0	-0.8	+0.0	-1.4
	変化率	NZ米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
NZドル/米ドル	-1.3	+0.02	+0.00	-0.02	+0.03	-0.06	-0.09	-2.0	-0.8	+0.0	-1.4
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	-1.7	-0.04	-0.05	-0.02	+0.02	-0.07	-0.09	-1.8	-0.8		
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	世界株価	米株価	原油WTI	CRB
米ドル/加ドル	+0.8	-0.01	-0.02	-0.01	-0.01	-0.09	-0.07	-2.0	-0.8	-6.1	-1.4

(注) 為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。
 (出所) トムソン・ロイター、プレビデンティア・ストラテジー

きょうの高慢な偏見：ドル高トレンド継続か、調整圧力が勝るか

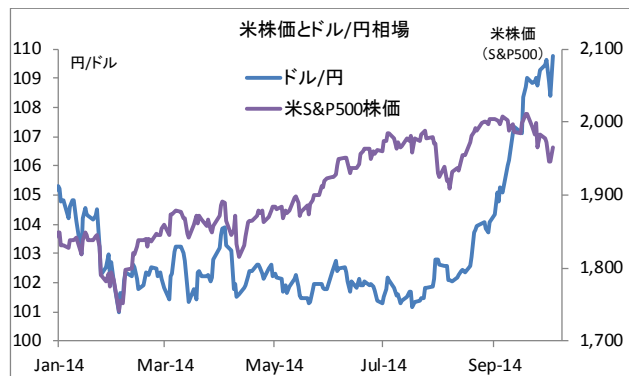
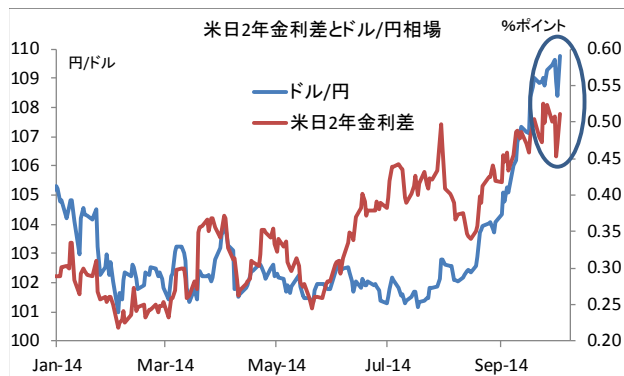
きょうの注目通貨：USD/JPY ↓、BRL ↑

きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
<5日> ブラジル大統領選				東京時間 6日午前に大勢判明
<6日> 特になし				

(出所) トムソン・ロイター等を基にプレビデンティア・ストラテジー作成

本日は重要材料が殆どないことから、米雇用統計の更なる消化セッションとなりそうだ。トレンドからすればドル高が続くそうで、ドル/円は10月1日の高値である110円超えを試す展開となりそうだ。但し、既に金曜に通常以上のドル上昇がみられたことから、ポジション調整リスクにも注意したい。米日2年金利差や米株価の動きは、必ずしもドル/円の更なる大幅上昇を示唆している訳ではない(下図を参照)。

なお、ブラジル大統領選の投票結果が東京時間午前中に判明する見通しだ。現在のところ、開票率84%の各候補の得票率はルセフ現職大統領が40.5%、ネベス社会民主党候補が34.9%、シルバ社会党候補が21.0%とルセフ大統領が首位で第1回投票を通過し10月26日の決選投票に向かう可能性が高いが、第2位には一時はルセフ大統領を上回る支持を得ていたシルバ候補ではなく、ネベス候補が予想外に躍進しており、決選投票はルセフ対ネベスとなりそうな情勢だ。金融市場の観点からは、候補者の中で最も市場寄り・改革派とされるネベス候補が最も好まれており、シルバ候補よりもブラジルリアルや株価が買われ易いとみられる。第1回投票で2位でも、ネベス候補が決選投票で勝利するには、決選投票までにシルバ候補支持者らがネベス候補支持に回りどれだけ「反ルセフ」でまとまることかにかかっている(10月4日付当社週次レポート「ブラジル大統領選：僅差に芽生える光明」を参照)。



ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいますようお願い申し上げます。

当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。

当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
金融商品取引業者（投資助言・代理業）関東財務局長（金商）第 2733 号
一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641